

日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査結果について

1 調査概要

(1) 目的

「北本市高齢者福祉計画 2018・第 7 期介護保険事業計画」策定のため、市内に居住する高齢者及び介護サービス提供事業者の現状を把握し、計画の基礎資料とする

- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
- ・在宅介護実態調査
- ・介護サービス提供事業者調査

(2) 調査時期及び方法

- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
平成 29 年 2 月 3 日～2 月 17 日（郵送調査）
- ・在宅介護実態調査
平成 28 年 11 月中旬～2 月中旬（訪問調査）
平成 29 年 2 月 3 日～2 月 17 日（郵送調査）
- ・介護サービス提供事業者調査
平成 29 年 2 月 3 日～2 月 17 日（郵送調査）

(3) 調査対象者

- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
市内在住の満 65 歳以上（要介護 1～5 の方を除く）の方を対象に 1,500 名
- ・在宅介護実態調査
市内在住の要支援 1・2、要介護 1～5 の方を対象に 700 名、
介護認定更新申請訪問時の聞き取り調査の方を対象に 200 名
- ・介護サービス提供事業者調査
北本市民にサービスを提供している事業所 48 事業所

(4) 回収率

- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 70.2% (1,053 人)
- ・在宅介護実態調査 71.1% (640 人)
- ・介護サービス提供事業者調査 58.3% (28 事業所)

2 主な調査結果

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

- ・介護認定を受けていない人からの回答が多い (85.9%)
- ・本人による回答が多い (88.1%)
- ・配偶者 65 歳以上の夫婦 2 人暮らしが多い (43.7%)

1 人暮らし	夫婦 2 人暮らし 配偶者 65 歳以上	夫婦 2 人暮らし 配偶者 64 歳以下	息子・娘との 2 世帯	その他	無回答
15.1%	43.7%	3.6%	17.4%	18.2%	2.0%

- ・介護・介助の必要性はない人が多いが (81.3%)、後期高齢者になると介護・介助が必要な人が増える。圏域別では、西部・公団地域・南部西は介護・介助が必要な人が多い傾向。(20.3%)

「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」と答えた人の割合

本町・西高尾・ 中央西	西部・公団地域・ 南部西	東間・深井・ 東地域	中丸・中央東・ 南部東
16.6%	20.3%	14.4%	16.1%

- ・住居は一戸建てが多い。(83.9%)
- ・からだを動かすことについては、後期高齢者になると、できなくなる人が増える。
- ・転倒について、後期高齢者になると、経験ある人が増える。(38.9%) 圏域別では、西部・公団地域・南部西が多い傾向。(32.6%)

過去 1 年間に転んだ経験が「何度もある」「1 度ある」と答えた人の割合

本町・西高尾・ 中央西	西部・公団地域・ 南部西	東間・深井・ 東地域	中丸・中央東・ 南部東
26.1%	32.6%	28.8%	28.1%

- ・外出 (週 0~1 回) については、後期高齢者になると、回数が減る。(27.5%)。圏域別では、本町・西高尾・中央西、東間・深井・東地域は、外出する回数が多い傾向。外出の手段は、徒歩、自動車、自転車が多い。

週に 1 回以上「外出する」と答えた人の割合

本町・西高尾・ 中央西	西部・公団地域・ 南部西	東間・深井・ 東地域	中丸・中央東・ 南部東
93.6%	92.8%	93.8%	91.1%

- ・日常生活では、物忘れが多いと感じている人は多い。(56.6%) 後期高齢者になると、増加傾向。外出、買い物、食事の用意、金銭管理については、後期高齢者になると、できない人が増える傾向にある。趣味や生きがいを持つことについては、後期高齢者になっても、大きく減少することはない。老人クラブでの活動については、後期高齢者になると増加する。(週 1 回以上参加する割合 14.9%) グループ活動の参加者にな

りたいが、運営者になりたくない傾向がある。

- ・助け合いの相手として、配偶者や友人、別居の子どもをあげる人が多い。家族や知人以外では、医師を相談相手とする人が多い。相談相手はいない人も多い。
- ・介護保険以外のサービスについて、移送サービス、配食、声かけを必要と感じている人が多い。ボランティアとして参加したいと思うサービスでは、声かけをあげる人は多い。参加の意向は、後期高齢者になると少なくなる。
- ・かかりつけ医のいる人が多い。(76.4%) 自分が医療や介護が必要になった時は、自宅で過ごしたい人が多いが(57%)、家族が医療や介護が必要になった時は、自宅のほか、介護医療機関に入院してもらいたい人が多い。人生の最期は、自宅で過ごしたい人が多い。(61.1%)

あなたが医療や介護が必要になった時、主にどこで過ごしたいですか

自宅	有料老人ホーム等	特別養護老人ホーム等	医療機関	その他	無回答
57.0%	10.2%	18.1%	18.4%	2.8%	4.7%

あなたの家族が、医療や介護が必要になった時、主にどこで過ごしたいですか

自宅	有料老人ホーム等	特別養護老人ホーム等	医療機関	その他	無回答
43.6%	10.4%	18.8%	23.8%	3.5%	10.2%

人生の最期をどこで過ごしたいですか

自宅	有料老人ホーム等	特別養護老人ホーム等	医療機関	ホスピス等	その他	無回答
61.1%	5.0%	9.5%	13.7%	11.4%	3.9%	5.8%

(2) 在宅介護実態調査

- ・要介護1、要介護2認定者の回答が多い。(55.2%)
- ・介護者となっている家族による回答が多い。(58.5%)
- ・世帯類型は、単身・夫婦二世帯以外の「その他」が多い。(42.8%)

単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
25.0%	30.5%	42.8%	1.7%

- ・介護の頻度は、ほぼ毎日あるが多い。(55.5%)
- ・介護者は、配偶者・子どもが多い。(81.2%) 介護者の性別は、女性が多い。(65.5%)
- 介護者の年齢は、50代～70代が多い。(74.3%)
- 介護者は、働いていないことが多い。(49.5%)

介護者の属性

配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
38.0%	43.2%	12.0%	0.2%	2.2%	2.0%	2.4%

- ・介護の内容は、外出の付き添い、服薬、食事の準備、家事、金銭管理・諸手続きが多い。

- ・介護のために仕事を辞めた家族・親族は多くない（いないと回答 70.7%）
- ・介護保険サービス以外の支援・サービスを利用している人は少ない。（56.1%）
- ・今後必要なサービスでは、外出同行・移送サービスをあげる人が多い。
- ・現時点で施設入所を検討している人は少ない。（67.7%）
- ・訪問診療を利用している人は少ない。（85.3%）

（3）介護サービス提供事業者調査

- ・提供しているサービスは、居宅介護支援、通所支援が多い。
- ・1か月分のサービス利用者数は50～100人未満・100人以上の事業所が多い。（67.8%）
- ・提供しているサービスの今後については、現状維持で考えている事業者が多い。
- ・事業運営を進めている上で、特に困難を感じる事として、従事者の確保、利用者の確保、事務作業量の多さを上げている事業者が多い。
- ・事業所と市との連携・協力については、「苦情相談への指導・助言・支援」、「介護サービス提供事業所等連絡会の開催」、「情報提供」、「被保険者・家族に対する制度の周知」を希望している事業者が多い。
- ・事業所と医療機関との関係については、「在宅のサービス利用者に福祉・介護サービスと医療サービスを組み合わせて提供したい」、「在宅のサービス利用者の緊急時の対応をお願いしたい」を希望している事業者が多い。